

科目名	商業登記法	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			法学部		□ 必修 ■ 選択
					□ 必修 □ 選択
英文表記	Commercial Registration Act	開講年次	□ 1 年 □ 2 年 ■ 3 年 □ 4 年		
		開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	ふじわら しんえつ	実務家教員担当科目	○	修得単位	2 単位
担当者名	藤原 信悦	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	商業登記制度の概略を知る。				
到達目標	登記申請ができるようになること。				
授業概要	毎回レジメを配布して講義する。				
授業計画					
第 1 回	世の中に法人（ほうじん）はいくつあるか。				
第 2 回	企業の種類				
第 3 回	商業登記簿 商業登記所				
第 4 回	登記のオンライン化				
第 5 回	会社をつくるには？				
第 6 回	法人格取得（設立登記）				
第 7 回	商号の登記（商業登記法 2 7 条）				
第 8 回	会社の目的の定め方				
第 9 回	登記事項に変更が生じたとき。				
第 10 回	登記懈怠（判例を中心として。）				
第 11 回	登記を信頼した者は保護されるか（判例を中心として。）。				
第 12 回	登記簿の公開制度				
第 13 回	登録免許税				
第 14 回	登記申請の却下				
第 15 回	商業登記制度の抱える問題点と今後の展望				
第 16 回	定期試験				
授業時間外の学習	企業関係の新聞、テレビ報道に注意する。				
履修条件 受講のルール	毎回、講義のキーワードの意味を理解する。				
テキスト	なし（毎回、レジメを配布して講義する。）				
参考文献・資料	判例百選（会社法 商法総則・商行為法）				
成績評価の方法	定期試験の結果で評価する（商業登記制度の概略をどの程度理解できているか否か。）。				
オフィスアワー					
成績評価基準	秀（100～90） 優（89～80） 良（79～70） 可（69～60） 不可（59 以下）				
実務経験及び実務を活かした授業内容	商業登記のデジタルの実際 商業登記と企業取引の関係（最高裁判例を中心として） 商業登記簿の見方				

学生への メッセージ	スタート・アップの功罪を、きちんと理解すること。
---------------	--------------------------